



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 国際石油開発帝石株式会社 上場取引所 東
 コード番号 1605 URL <http://www.inpex.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北村 俊昭
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IRユニット (氏名) 橋高 公久 (TEL) 03-5572-0233
 ジェネラルマネージャー
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	996,901	12.2	547,277	6.8	543,748	5.1	107,068	△22.0
25年3月期第3四半期	888,318	2.8	512,552	1.0	517,138	2.3	137,297	18.5

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 264,318百万円(46.6%) 25年3月期第3四半期 180,262百万円(81.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	73.32	—
25年3月期第3四半期	94.02	—

(注) 当社は、平成25年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき400株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	3,962,109	2,913,448	68.5
25年3月期	3,616,158	2,670,983	68.6

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期2,715,691百万円 25年3月期2,481,292百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	3,500.00	—	3,500.00	7,000.00
26年3月期	—	3,600.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	9.00	—

(注1) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 平成26年3月期(予想)の期末配当金については、平成25年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき400株の割合で株式分割を行った影響を考慮した金額を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の平成26年3月期(予想)の1株当たりの期末配当金は3,600円となります。

(注3) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。甲種類株式(非上場)の配当の状況については、別紙の「甲種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,317,000	8.3	707,000	2.0	720,000	0.3	160,000	△12.5	109.56

(注1) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注2) 平成26年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、平成25年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき400株の割合で株式分割を行った影響を考慮した金額を記載しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	1,462,323,600株	25年3月期	1,462,323,600株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	1,966,400株	25年3月期	1,966,400株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	1,460,357,200株	25年3月期3Q	1,460,357,200株

当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき400株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。なお、甲種類株式(非上場)につきましては、株式分割は実施致しておりません。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施されております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績は、石油・天然ガス価格、生産・販売計画、プロジェクト開発スケジュール、政府規制、財務・税制条件等の変化により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は3ページを参照してください。

(2) 当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき400株の割合で株式分割を行っております。

(甲種類株式の配当の状況)

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年3月期	円 銭 —	円 銭 3,500.00	円 銭 —	円 銭 3,500.00	円 銭 7,000.00
26年3月期	円 銭 —	円 銭 3,600.00			
26年3月期(予想)			円 銭 —	円 銭 3,600.00	円 銭 7,200.00

(注) 平成25年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき400株の割合で株式分割を行っておりますが、甲種類株式(非上場)につきましては、株式分割を実施致しておりません。これに伴い、甲種類株式の配当については、当該分割前の普通株式と同等になるよう、定款で定めております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12
(重要な後発事象)	13
4. 参考情報	14
(1) 生産、受注及び販売の状況	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間は期中平均レートが円安に推移したことにより、売上高は前年同期比1,085億円、12.2%増の9,969億円となりました。このうち原油売上高は前年同期比728億円、12.6%増の6,499億円、天然ガス売上高は前年同期比446億円、15.5%増の3,323億円となりました。当第3四半期連結累計期間の販売数量は、原油が前年同期比4,999千バレル、7.6%減少の60,389千バレルとなりました。天然ガスは、前年同期比8,482百万立方フィート、3.6%増加の241,776百万立方フィートとなりました。このうち、海外天然ガスは、前年同期比7,790百万立方フィート、4.2%増加の195,363百万立方フィートとなり、国内天然ガスは、前年同期比19百万立方メートル、1.5%増加の1,244百万立方メートル、立方フィート換算では46,414百万立方フィートとなっております。販売価格は、海外原油売上の平均価格が1バレル当たり107.76米ドルとなり、前年同期比1.99米ドル、1.8%の下落となりました。海外天然ガス売上の平均価格は千立方フィート当たり13.05米ドルとなり、前年同期比0.55米ドル、4.0%の下落となりました。また、国内天然ガスの平均価格は立方メートル当たり50円07銭となり、前年同期比3円15銭、6.7%の上昇となっております。売上高の平均為替レートは1米ドル99円43銭となり、前年同期比19円43銭、24.3%の円安となりました。

売上高の増加額1,085億円を要因別に分析しますと、原油及び天然ガスの売上高に関し、販売数量の減少により399億円の減収要因、販売単価の下落により211億円の減収要因、為替は売上の平均為替レートが円安になったことにより1,785億円の増収要因、その他の売上高は88億円の減収要因となりました。

一方、売上原価は、主に為替が円安に推移したことにより、前年同期比539億円、17.3%増の3,662億円となりました。探鉱費は主に中東・アフリカ地域での探鉱活動が増加したことにより、前年同期比134億円、161.6%増の217億円となりました。販売費及び一般管理費は前年同期比64億円、11.7%増の616億円となりました。以上の結果、営業利益は前年同期比347億円、6.8%増の5,472億円となりました。

営業外収益は、権益譲渡益及び持分法による投資利益の減少により、前年同期比153億円、37.0%減の260億円となりました。営業外費用は為替差損の減少により、前年同期比72億円、19.6%減の296億円となりました。この結果、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は前年同期比266億円、5.1%増の5,437億円となりました。

法人税、住民税及び事業税は前年同期比102億円、2.6%減の3,810億円、法人税等調整額は546億円となり、少数株主損益調整前四半期純利益は前年同期比320億円、22.9%減の1,080億円となりました。少数株主利益は9億円となり、以上の結果、四半期純利益は前年同期比302億円、22.0%減の1,070億円となりました。

セグメント別の業績は次の通りです。

① 日本

石油製品の販売数量の減少により、売上高は前年同期比3億円、0.4%減の829億円となり、営業利益は探鉱費等の増加により前年同期比63億円、39.5%減の97億円となりました。

② アジア・オセアニア

為替が円安に推移したものの、油価の下落に加え、販売数量が減少したことにより、売上高は前年同期比38億円、1.1%減の3,606億円となり、営業利益は円安及び作業費等の増加による売上原価の増加により前年同期比186億円、8.6%減の1,966億円となりました。

③ ユーラシア(欧州・NIS諸国)

油価は下落したものの、為替が円安に推移したこと及び販売数量の増加により、売上高は前年同期比161億円、27.3%増の754億円となり、営業利益は前年同期比50億円、18.4%増の326億円となりました。

④ 中東・アフリカ

油価は下落したものの、為替が円安に推移したこと及び販売数量の増加により、売上高は前年同期比929億円、24.6%増の4,707億円、営業利益は前年同期比556億円、21.0%増の3,210億円となりました。

⑤ 米州

天然ガスの販売数量の増加により、売上高は前年同期比36億円、104.8%増の71億円となりましたが、作業費等の増加により、営業損失は前年同期比7億円、15.8%増の52億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は3兆9,621億円となり、前連結会計年度末の3兆6,161億円と比較して3,459億円の増加となりました。資産増加の主な内訳は、有形固定資産及び無形固定資産の増加により固定資産が3,034億円増加したことによるものです。

一方、負債は1兆486億円で、前連結会計年度末の9,451億円と比較して1,034億円の増加となりました。このうち流動負債は3,753億円で、前連結会計年度末比395億円の減少、固定負債は6,732億円で、前連結会計年度末比1,430億円の増加となりました。

純資産は2兆9,134億円となり、前連結会計年度末比2,424億円の増加となりました。このうち、少数株主持分は1,977億円で、前連結会計年度末比80億円の増加となりました。

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、期首の1,998億円から当第3四半期中に減少した資金752億円を差し引いた1,246億円となりました。

当第3四半期連結累計期間における営業活動、投資活動及び財務活動によるキャッシュ・フローの状況及びそれらの要因は次のとおりであります。

なお、現金及び現金同等物に係る換算差額により、資金が541億円増加しております。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、前年同期比479億円減の1,269億円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が増加した一方で、法人税等の支払額や生産物回収勘定（非資本支出）が増加したことによるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、前年同期比177億円増の2,971億円となりました。これは主に、権益取得による支出や長期貸付による支出が減少した一方で、長期預金の預入による支出や有形固定資産の取得による支出が増加したことによるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果得られた資金は、前年同期比12億円増の407億円となりました。これは主に、少数株主からの払込による収入が減少した一方で、長期借入による収入が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の通期連結業績予想については、平成26年3月期第3四半期連結累計期間の実績などを加味した結果、平成25年11月7日に公表の数値から下記のとおり修正を行いました。

通期連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日） （単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	1,268,000	651,000	671,000	153,000
今回修正予想(B)	1,317,000	707,000	720,000	160,000
増減額(B-A)	49,000	56,000	49,000	7,000
増減率(%)	3.9	8.6	7.3	4.6

上記見通しは以下の前提により算出しております。

	前回発表予想		今回修正予想	
原油価格 (ブレント)	上期(実績)	106.5ドル/バレル	上期(実績)	106.5ドル/バレル
	下期	100.0ドル/バレル	下期	104.7ドル/バレル
	通期平均	103.3ドル/バレル	通期平均	105.6ドル/バレル
為替 (対米ドル)	上期(実績)	98.9円/ドル	上期(実績)	98.9円/ドル
	下期	95.0円/ドル	下期	102.7円/ドル
	通期平均	96.9円/ドル	通期平均	100.8円/ドル

なお、当社販売の原油価格は油種毎に価格が異なり、ブレントに比べ価格差があります。価格差は油の品質等により異なり、また、市況等により価格差も一定ではありません。当社販売の原油価格は一部を除きブレントに比べ低い価格になっております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	483,814	642,046
受取手形及び売掛金	117,411	132,437
有価証券	281,642	202,498
たな卸資産	15,409	26,280
その他	223,145	162,801
貸倒引当金	△14,919	△17,068
流動資産合計	1,106,504	1,148,996
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	102,965	149,430
坑井(純額)	19,777	22,524
機械装置及び運搬具(純額)	71,477	102,549
土地	19,560	19,704
建設仮勘定	359,429	535,055
その他(純額)	11,330	20,217
有形固定資産合計	584,541	849,482
無形固定資産		
のれん	87,840	82,769
その他	292,314	335,616
無形固定資産合計	380,155	418,385
投資その他の資産		
投資有価証券	673,129	550,858
生産物回収勘定	590,565	658,553
その他	400,046	460,660
貸倒引当金	△793	△865
生産物回収勘定引当金	△112,870	△120,027
探鉱投資引当金	△5,119	△3,935
投資その他の資産合計	1,544,957	1,545,244
固定資産合計	2,509,654	2,813,112
資産合計	3,616,158	3,962,109

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	41,401	50,509
短期借入金	8,560	20,020
未払法人税等	152,681	98,191
探鉱事業引当金	26,856	8,563
役員賞与引当金	127	86
資産除去債務	3,812	6,316
その他	181,536	191,707
流動負債合計	414,976	375,395
固定負債		
長期借入金	466,908	567,742
退職給付引当金	8,580	8,730
事業損失引当金	3,705	4,154
特別修繕引当金	277	242
資産除去債務	13,581	18,836
その他	37,144	73,558
固定負債合計	530,198	673,265
負債合計	945,174	1,048,660
純資産の部		
株主資本		
資本金	290,809	290,809
資本剰余金	679,287	679,287
利益剰余金	1,375,106	1,456,253
自己株式	△5,248	△5,248
株主資本合計	2,339,956	2,421,102
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,741	65,196
繰延ヘッジ損益	16,243	△28,782
為替換算調整勘定	90,350	258,173
その他の包括利益累計額合計	141,336	294,588
少数株主持分	189,691	197,757
純資産合計	2,670,983	2,913,448
負債純資産合計	3,616,158	3,962,109

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	888,318	996,901
売上原価	312,270	366,259
売上総利益	576,047	630,642
探鉱費	8,313	21,745
販売費及び一般管理費	55,181	61,618
営業利益	512,552	547,277
営業外収益		
受取利息	5,093	13,220
受取配当金	2,771	3,264
持分法による投資利益	1,624	—
その他	31,913	9,602
営業外収益合計	41,402	26,087
営業外費用		
支払利息	1,015	1,702
持分法による投資損失	—	1,915
生産物回収勘定引当金繰入額	9,071	4,670
探鉱事業引当金繰入額	4,645	827
為替差損	17,774	11,590
その他	4,310	8,908
営業外費用合計	36,816	29,616
経常利益	517,138	543,748
税金等調整前四半期純利益	517,138	543,748
法人税、住民税及び事業税	391,339	381,076
法人税等調整額	△14,280	54,666
法人税等合計	377,059	435,742
少数株主損益調整前四半期純利益	140,079	108,005
少数株主利益	2,781	937
四半期純利益	137,297	107,068

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	140,079	108,005
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,780	30,443
繰延ヘッジ損益	11,060	△20,887
為替換算調整勘定	25,480	167,158
持分法適用会社に対する持分相当額	△138	△20,402
その他の包括利益合計	40,183	156,312
四半期包括利益	180,262	264,318
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	178,469	260,320
少数株主に係る四半期包括利益	1,792	3,997

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3 四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3 四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	517,138	543,748
減価償却費	41,026	36,623
のれん償却額	5,070	5,070
生産物回収勘定引当金の増減額(△は減少)	10,198	11,425
探鉱事業引当金の増減額(△は減少)	5,062	△18,511
退職給付引当金の増減額(△は減少)	7	165
その他の引当金の増減額(△は減少)	647	1,353
受取利息及び受取配当金	△7,865	△16,485
支払利息	1,015	1,702
為替差損益(△は益)	17,855	17,615
持分法による投資損益(△は益)	△1,624	1,915
生産物回収勘定(資本支出)の回収額	39,222	48,801
生産物回収勘定(非資本支出)の増加額	△14,051	△38,025
売上債権の増減額(△は増加)	△19,663	△16,167
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,820	△11,041
仕入債務の増減額(△は減少)	10,509	9,261
その他	△46,222	△45,931
小計	553,506	531,519
利息及び配当金の受取額	11,922	20,108
利息の支払額	△753	△1,391
法人税等の支払額	△389,799	△423,310
営業活動によるキャッシュ・フロー	174,876	126,925
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△115,687	△129,055
定期預金の払戻による収入	106,417	212,455
長期預金の預入による支出	—	△355,909
長期預金の払戻による収入	5,000	38,500
有形固定資産の取得による支出	△139,704	△234,547
有形固定資産の売却による収入	101	672
無形固定資産の取得による支出	△3,654	△2,676
有価証券の取得による支出	△17,709	—
有価証券の売却及び償還による収入	242,874	205,680
投資有価証券の取得による支出	△51,877	△20,834
投資有価証券の売却及び償還による収入	38,553	62,433
生産物回収勘定(資本支出)の支出	△60,647	△78,038
短期貸付金の増減額(△は増加)	799	△3,241
長期貸付けによる支出	△136,158	△34,855
長期貸付金の回収による収入	88	74,833
権益取得による支出	△169,131	△33,487
その他	21,337	962
投資活動によるキャッシュ・フロー	△279,400	△297,108

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,672	1,633
長期借入れによる収入	31,697	67,238
長期借入金の返済による支出	△2,810	△6,144
少数株主からの払込みによる収入	39,348	8,001
配当金の支払額	△27,392	△25,936
少数株主への配当金の支払額	△3,939	△3,939
その他	△45	△64
財務活動によるキャッシュ・フロー	39,529	40,789
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,380	54,150
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△66,374	△75,242
現金及び現金同等物の期首残高	249,233	199,858
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	439	—
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△858	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	182,440	124,616

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注2)
	日本	アジア・ オセアニ ア	ユーラシ ア(欧州・ NIS諸国)	中東・ アフリカ	米州	計		
売上高								
外部顧客への売上高	83,288	364,513	59,211	377,792	3,511	888,318	—	888,318
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	83,288	364,513	59,211	377,792	3,511	888,318	—	888,318
セグメント利益又は損失 (△)	16,169	215,269	27,589	265,386	△4,539	519,875	△7,323	512,552

- (注) 1 セグメント利益の調整額△7,323百万円は、セグメント間取引消去169百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△7,492百万円が含まれております。全社費用の主なものは、報告セグメントに帰属しないのれんの償却及び一般管理部門にかかる費用であります。
- 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注2)
	日本	アジア・ オセアニ ア	ユーラシ ア(欧州・ NIS諸国)	中東・ アフリカ	米州	計		
売上高								
外部顧客への売上高	82,971	360,629	75,404	470,704	7,191	996,901	—	996,901
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	82,971	360,629	75,404	470,704	7,191	996,901	—	996,901
セグメント利益又は損失 (△)	9,787	196,655	32,668	321,039	△5,257	554,893	△7,616	547,277

- (注) 1 セグメント利益の調整額△7,616百万円は、セグメント間取引消去168百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△7,784百万円が含まれております。全社費用の主なものは、報告セグメントに帰属しないのれんの償却及び一般管理部門にかかる費用であります。
- 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

該当事項はありません。

4. 参考情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

セグメントごとの生産実績は次のとおりであります。

セグメントの 名称	区分	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
日本	原油	1.0百万バレル (日量3.5千バレル)	0.9百万バレル (日量3.2千バレル)
	天然ガス	32.4十億CF (日量117.9百万CF)	29.9十億CF (日量108.9百万CF)
	小計	7.1百万BOE (日量25.6千BOE)	6.5百万BOE (日量23.7千BOE)
	石油製品	157.5千kl (991.0千バレル)	一千kl (一千バレル)
	ヨード	316.8t	339.4t
	発電	133.0百万kWh	162.9百万kWh
アジア・オセアニア	原油	16.8百万バレル (日量61.1千バレル)	12.7百万バレル (日量46.2千バレル)
	天然ガス	174.3十億CF (日量634.0百万CF)	179.6十億CF (日量653.1百万CF)
	小計	49.7百万BOE (日量180.8千BOE)	46.5百万BOE (日量169.2千BOE)
ユーラシア (欧州・NIS諸国)	原油	6.9百万バレル (日量25.1千バレル)	7.2百万バレル (日量26.3千バレル)
中東・アフリカ	原油	43.0百万バレル (日量156.4千バレル)	46.1百万バレル (日量167.7千バレル)
米州	原油	0.1百万バレル (日量0.5千バレル)	0.4百万バレル (日量1.5千バレル)
	天然ガス	22.6十億CF (日量82.3百万CF)	29.7十億CF (日量107.9百万CF)
	小計	4.2百万BOE (日量15.1千BOE)	5.6百万BOE (日量20.4千BOE)
合計	原油	67.8百万バレル (日量246.6千バレル)	67.3百万バレル (日量244.9千バレル)
	天然ガス	229.4十億CF (日量834.2百万CF)	239.2十億CF (日量869.9百万CF)
	小計	110.8百万BOE (日量403.1千BOE)	112.0百万BOE (日量407.3千BOE)
	石油製品	157.5千kl (991.0千バレル)	一千kl (一千バレル)
	ヨード	316.8t	339.4t
	発電	133.0百万kWh	162.9百万kWh

(注)1 海外で生産されたLPGは原油に含まれます。ただし、国内の製油所にて生産されたLPGは石油製品に含まれます。

2 原油の生産量の一部は、石油製品の原料として使用しております。

3 原油及び天然ガス生産量の一部は、発電燃料として使用しております。

4 上記の生産量は持分法適用関連会社の持分を含みます。また、上記の生産量は連結子会社及び持分法適用関連会社の決算日にかかわらず、4月1日から12月31日の実績となっております。

5 当社グループが締結している生産分与契約にかかる当社グループの原油及び天然ガスの生産量は、正味経済的取分に相当する数値を示しております。なお、当社グループの権益比率ベースの生産量は、前第3四半期連結累計期間は原油90.2百万バレル(日量328.1千バレル)、天然ガス315.8十億CF(日量1,148.4百万CF)、合計149.7百万BOE(日量544.4千BOE)、当第3四半期連結累計期間は原油89.9百万バレル(日量326.8千バレル)、天然ガス322.1十億CF(日量1,171.4百万CF)、合計150.2百万BOE(日量546.3千BOE)となります。

6 BOE(Barrels of Oil Equivalent)原油換算量

7 石油製品は換算後の数値を括弧内に記載しております。換算係数は1kl当たり6.29バレルです。

8 ヨードは、他社への委託精製によるものであります。

9 数量は小数点第2位を四捨五入しております。

② 受注実績

当社グループの販売実績のうち、受注高が占める割合は僅少であるため受注実績の記載は省略しております。

③販売実績

セグメントごとの販売実績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	区分	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	
		販売量	売上高	販売量	売上高
日本	原油	86千バレル	794	572千バレル	6,119
	天然ガス (LPGを除く)	45,722百万CF	57,483	46,414百万CF	62,276
	LPG	138千バレル	1,603	6千バレル	56
	その他		23,407		14,519
	小計		83,288		82,971
アジア・オセアニア	原油	15,385千バレル	138,963	9,122千バレル	97,332
	天然ガス (LPGを除く)	168,637百万CF	207,014	166,125百万CF	246,324
	LPG	2,779千バレル	18,535	2,175千バレル	16,972
	小計		364,513		360,629
ユーラシア(欧州・NIS諸国)	原油	6,688千バレル	59,211	6,867千バレル	75,404
中東・アフリカ	原油	43,185千バレル	377,792	43,794千バレル	470,704
米州	原油	44千バレル	383	33千バレル	422
	天然ガス (LPGを除く)	18,936百万CF	3,127	29,238百万CF	6,769
	小計		3,511		7,191
合計	原油	65,388千バレル	577,145	60,389千バレル	649,983
	天然ガス (LPGを除く)	233,295百万CF	267,626	241,776百万CF	315,370
	LPG	2,917千バレル	20,139	2,181千バレル	17,028
	その他		23,407		14,519
	合計		888,318		996,901

(注)1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 決算日が12月31日の連結子会社につきまして、連結決算日で決算を行っている会社を除き、1月から9月の業績を第3四半期として連結しております。ただし、連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行っております。

3 販売量は、単位未満を四捨五入しております。

4 主要相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は以下のとおりであります。なお、ブルタミナへの販売の大部分は天然ガスであり、LNGとして日本をはじめ、韓国、台湾等の需要家へ販売しております。

相手先	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	
	金額 (百万円)	割合 (%)	金額 (百万円)	割合 (%)
ブルタミナ	152,288	17.1	163,057	16.4
出光興産(株)	87,608	9.9	110,728	11.1